



学校だより



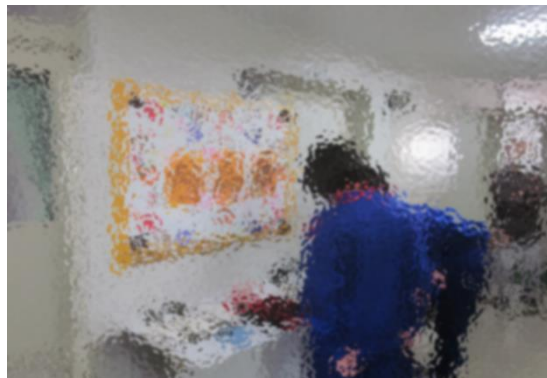
青梅市立東小中学校
令和2年度 第8号
11月25日(水)

実りの秋の作品展

文化的活動が東小中生の人間性を豊かにしています

校長 川窪 公夫

今秋、72回目となる正倉院展が奈良国立博物館で開催されました。正倉院展が初めて開催されたのは、1946年(昭和21年)。当時、全国から押し寄せた来場者は15万人、1日にして7000人に達したそうです。終戦の翌年で、毎日の食べ物を手に入れるのも大変な時代でありながら、古代の文化を求めて長蛇(ちょうだ)の列がつけられたそうです。英語の「カルチャー=文化」の単語の元の意味は、ラテン語(古代に使われていた言葉)の「耕す」だったそうです。荒れた大地に豊かな実りをもたらすように、私たちに豊かな心を育てていく。つまり、文化は、「人間がより人間らしく成長するための道」だと思えます。

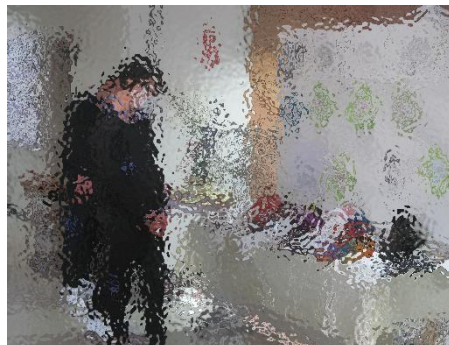
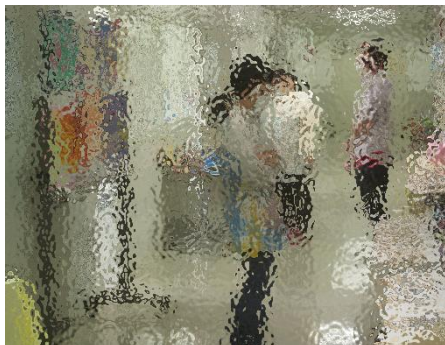
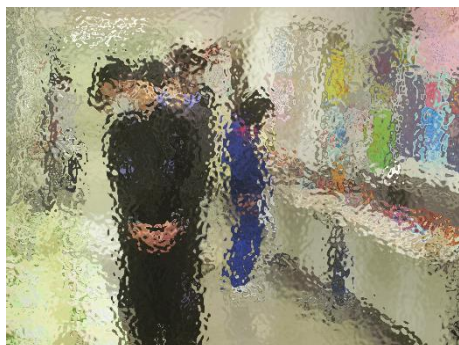


本校の作品展も皆さんの心が豊かになることを願い行っている行事です。小学校の書写・図工・家庭科、中学校の美術・技術・家庭科、ものづくり、そして、感動的だった運動会の写真、さらに、高等部のアイディアに富む作品や生け花など、皆さんが頑張った作品をたくさん



見ることができました。皆さんの顔を思い浮かべながら、作品を見ました。同じ材料を使い、同じテーマのものを作っても、それぞれの作品には、皆さんの個性が表れていました。

講師の先生に、作品展の御礼を言ったところ、こう話してくれました。「みんな集中して、真面目に作品づくりに向き合っています。東小中学校の子ども達は素晴らしいです。」と。だから、どの作品からも、一生けん命に作った様子が伝わってくるのだと分かりました。学園の先生方も皆さんの作品を一つ一つ丁寧にみていただき、とても誉(ほ)めてくれました。私も皆さんの作品を見て、嬉しい気持ちになりました。それは、皆さんが作品づくりという文化的な活動を通して、心を豊かにしていると感じることができたからです。皆さんの作品に出会えて感謝しています。これからもこのような作品づくりの時間を大切にして、心豊かな人間に成長していきましょう。



小学生 → 実りの秋 = 稲やさつまいもを収穫しました

6月末に植えた稲を「総合的な学習の時間」を中心に、みんなで力を合わせ、コツコツと育てて来ました。そして、10月16日に念願の収穫を迎えました。カマを手一人一束(ひとたば)ずつ、刈り取りました。また、別の日には、5月に植えたさつまいも掘りも行われました。つるにたくさん付いている大小様々のさつまいもに歓声(かんせい)を上げながら、収穫していました。稲作や野菜作りの体験から、私たちの命をつなぐ食である農作物を作ってください農家の皆さんの苦労や喜びを感じることができたと思います。これから始まる冬野菜の栽培も頑張ります。



<シリーズ クラブ活動は今!?!> 第5弾 サッカー部

今回はサッカー部の紹介です。キーワードを「礼儀・感謝・時間」として、現在12名で活動しています。ボールタッチやシュート練習などの基礎練習を中心に活動してきたので、個々の技量が向上しました。今後はゲーム形式など、より実践的な練習を増やします。サッカー部では「前向きな声掛け」を意識して、雰囲気大切にしています。仲間が失敗しても全員でカバーし、前向きな声を掛け合いゴールを目指す姿勢で努力を重ねます。また、挨拶などの「礼儀」、「感謝の気持ち」を行動で表すこと、そして、1分1秒の「時間」を大切にすることを、普段の生活に生かせるクラブ活動を目指していきます。(顧問の先生談)



百人一首交流会、頑張りました

10月25日(日)爽やかな秋晴れのもと本校体育館で「百人一首交流会」が行われました。例年は、1月に盛大に開催されている行事ですが、今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、寒い時期を避(さ)けての開催となりました。午前女子寮対抗・午後男子寮対抗とし、順位を決めるのではなく、お互いに努力してきた成果を競い合いました。この交流会を目指し、子ども達は時間を惜しんで、句を覚えてきました。取れた札の枚数には、個人差がありますが、どの子も真剣な眼差(まなざ)しで、札を探す姿に努力の日々を見ることができました。頑張って覚えた健気(けなげ)な取り組みを思い嬉しくなりました。

読み手の声に耳を研(と)ぎ澄(す)ますと、心地よい秋の風と小鳥のさえずりを感じることができました。静けさの中、時折、“はい!”という札を取る声が体育館にこだまします。

日本の伝統行事の一つである百人一首大会(交流会)で、心地よい空間と時間を味わうことができました。運営された学園の先生方、ありがとうございました。

